

「光ファイバー」技術を用いた注入材の注入状況検知システム。

長尺フォアパイリングの『注入状況を検知する』

長尺フォアパイリング
長尺鏡ボルトの注入状況
の目安に！

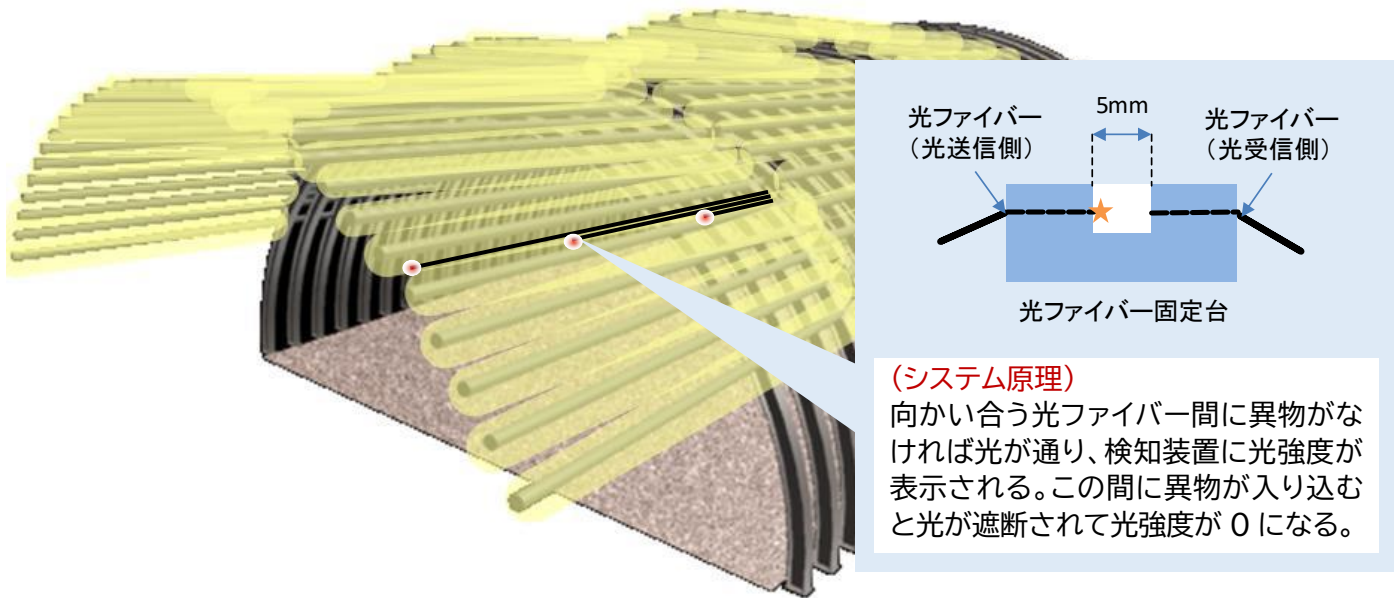
地山改良検知システム

切羽前方地山の改良状況を予測して、
剥落事故のリスクを回避する。

本システムは、注入材の地山内での改良体造成状況を確認することを目的とし、鋼管と鋼管間に 12m 程度のセンサー（検知部は 3 箇所）を設置して、注入時において、センサー部に注入材が介入しているか確認することができます。

このシステムにより、前方地山の注入状況を予測し、必要に応じて、より適切な注入材、注入方法の変更等に役立たれると考えられます。

NETIS 国土交通省
新技術活用システム登録
KT-210095-A



■主な使用材料



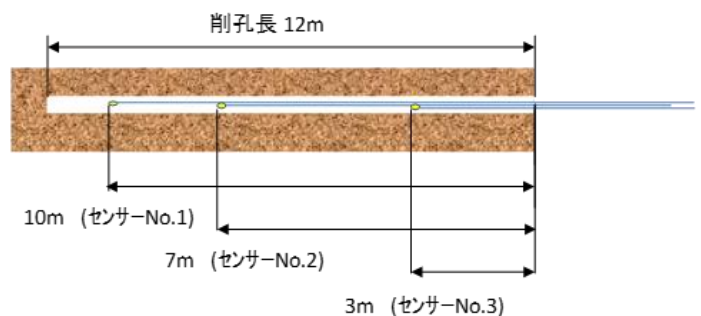
(LS3/digital8ch-PC)



(光ファイバー)

※その他ボアホール削孔資材、ケーブル設置パイプ等が必要

■検知センサー設置例



株式会社 ケー・エフ・シー

東京土木営業部 : 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビルB館 11F TEL 03-6402-8251
大阪土木営業部 : 大阪市北区西天満 3 丁目 2-17 TEL 06-6363-1884